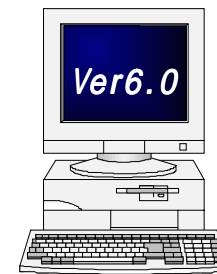
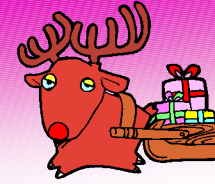


棚POWERインフォメーション

寒さが一段と厳しくなってきました

98.12.10

Vol.17



IConcept®
 サポートセンター
 OSAKA / TEL(06)821-2571
 1999.1.1より(06)6821-2571
 TOKYO / TEL(03)5469-1153
 ●http://www.iconcept.co.jp/
 ●e-mail iccenter @ iconcept.
 mxq.mesh.ne.jp

棚POWER95 Ver6.0 出荷開始!!

皆様に活用いただいている棚POWER95の新しいバージョン「棚POWER95 Ver6.0」の出荷が開始されました。今回も頂戴している様々なご要望を取り入れ、「さらに使いやすい」、「さらに便利に」を実現した内容となっています。また、機能の追加の他に皆様からご要望の多かった基本マニュアルも全面改定。13部構成となり、使用する方の目的に合わせて切り離してご使用いただくことが可能です。出荷は順次行なっております。まだお手元に届いていない場合はもうしばらくお待ちください。

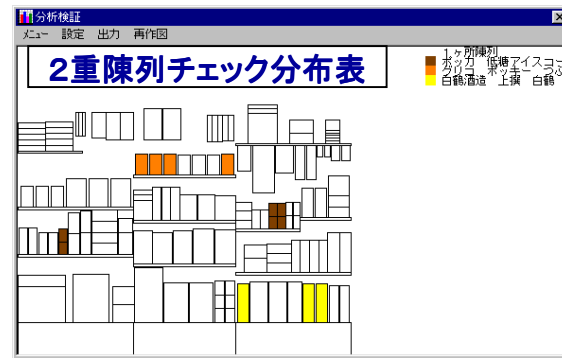
Ver6.0おもなバージョンアップ項目

すでにインフォメーションVol.16やユーザーフォーラム資料などで、主なバージョンアップ項目のご紹介を行なっていますが、今回は主な項目のもう少し詳しい内容や活用方法についてご紹介します。

ここに記載していない項目につきましては、納品物に同封の「棚POWERVer6.0出荷に伴う新機能と改善項目」やマニュアルを参照ください。

●分析検証機能を更に強化

商品分布表にパソコン操作によるイメージミスを発見できる2重陳列チェック分布表、トレンド分析にカテゴリー回帰分析を新設。従来の各グラフには実数値表示や分析項目を追加。商品の並びを眺めているだけでは見えてこない実態分析を従来の分析検証機能と合わせて行なえます。更にクロス分析表の分析項目(売価、原価など)を追加しています。



●フェイスング中のダミー商品登録が可能!!

これまでフェイスング中に商品情報の新規登録は行なえていませんでしたが、JAN、商品名を始めとした必須項目がすべて揃っているのが前提でした。このダミー商品登録機能では、他社の新製品などで「JANは分かっているが商品名が確定していない」、「詳細な情報は分からない」といった場合でも棚割りに陳列できるようその場で仮のJANや商品名、サイズの指定を行ない登録することができます。さらに、ここで使用したJANコードを後から商品情報マスターに登録することで自動的にダミー商品が正式な商品に置き換わります。もちろん各種帳票にも出力することができますので、さらに活用範囲が広がります。



●棚ラベル編集機能強化!!

棚ラベルの項目出力位置やフォント、色など自由に設定できます。従来のサイズ設定に加え、自由なレイアウトや色使いさらに自社のロゴマークも使用可能なため、オリジナルの棚ラベルが作成できます。



●ユーティリティー機能がパワーアップ

◆プラネット,SP2に完全対応。

従来のBMPファイルによるイメージ取り込みに加え、商品情報の取り込みや商品情報、イメージをプラネット、SP2の形式で出力することが可能です。これにより、棚POWERへの取り込みはもちろん棚POWERで登録したデータを簡単に渡すことができます。さらに、イメージの出力にはJPEG形式も追加しています。

◆商品情報,支店展開処理強化。

未登録商品や未登録面(イメージ)だけの取り込みが可能となり処理時間の短縮や自社登録商品を優先しての取り込みが行なえます。支店展開出力時には商品情報CSVファイルも同時に出力できますので、合わせて配布することによって分類コードのメンテナンス作業などを簡単に行なえます。

●星取表作成機能

モデルをパターンで管理している場合に、パターン単位の商品の取り扱いを確認できます。

●3D、提案書作成機能

作成した棚割や商品イメージを立体的に表示可能な3D機能を新設。さらに、それらの画像を使用して従来の棚割図や陳列情報、POPなどと組み合わせた提案書が作成できます。もちろん、自由なレイアウトに加え、提案用のコメントもその場で入力可能で、棚POWERの帳票類にまた一つ、即戦力な帳票が揃いました。

●サポートセンター トピックス No.2

サポートセンターへのお問合せが多い項目や便利な機能のご紹介。

●商品情報登録時に分類コードが確定していない場合

商品情報登録時に該当する分類がない、または、どの分類に属するか確定していない場合などに、分類マスターに存在しないコードを入力して仮登録すると、ユーティリティーやカテゴリーグループでの絞り込みができません。こういう時のために、あらかじめメンテナンス分類で使用している属性に仮登録用の分類を作成しておくのが便利です。廃盤商品の管理にも流用できます。

- <方法>
- ①分類マスターに仮登録用コードを登録。例:9999999 仮登録
 - ②商品情報登録時には、一時的に仮登録用のコードを使用して商品情報を登録。この時点でカテゴリーグループを作成すると商品リストに該当商品を表示します。
 - ③コードが確定次第改めてメンテナンス分類に必要なコードを登録し商品情報も変更します。
 - ④カテゴリーグループを②で作成した場合には再抽出を行なってください。

●常駐ソフトと棚POWER

サポートセンターにいただくお問い合わせでぐまに「棚POWER動作不安定」というのがあります。その原因の一つに考えられるのが常駐ソフトとの関係です。何らかの原因でお互いのソフトが干渉し合うために動作が不安定になったり、リソース不足やメモリ不足を起こしやすくなる場合があります。できるだけ不要な常駐ソフトは外して、棚POWERをご使用ください。また、万が一の場合に備えて、「フェイスングオプション・自動保存」を1分間隔で実行するように設定してください。

今回から通常のMD-ing講座に戻ります。「在庫管理」について説明いたします。
在庫を示す考え方には二つあります。

1. ダラーコントロール(金額による在庫統制)・・・何がいくらあるのか
2. ユニットコントロール(数量による在庫統制)・・・何がいくつあるのか

1.ダラーコントロール(金額による在庫統制)

この方法は、全社の商品仕入れ予算や各部門の仕入れ枠、在庫高を決定し管理できる方法です。

$$\text{当期仕入高予算} = \text{販売予算} + \text{期末予定在庫高} - \text{期首在庫高}$$

また、金額による在庫統制によって把握されたデータは、トップマネジメント、部門管理者、店舗管理者、仕入担当者などに対して、

- ①現在どれだけの商品在庫があるのか
- ②その在庫は全社的に見て、部門別・商品分類別に均衡が取れているのか
- ③売上高と在庫高との関係はバランスが取れているのか
- ④目標粗利益率は達成されているのか
- ⑤発注残高はいくらなのか

など、金額で示された様々な情報を提供し、MD-ingがコントロールされています。
次に、具体的実施内容について解説します。

①部門別統制方式

各部門で売上高・仕入高・値入率・売上総利益・商品回転率・在庫高・交差比率などを記録し、管理します。さらに、全社的に各部門の数値を比較して、全体として設定した目標に達しない部門があれば改善を計ります。進め方は、

- A・・・部門別販売予測を立案します。
過去の販売実績分析→販売予測
- B・・・部門として望ましい商品回転率を立案します。
過去の商品回転率分析→予定回転率の設定
- C・・・A、Bが設定できれば次の式から在庫高が求められます。

$$\text{在庫高} = \frac{\text{販売高}}{\text{商品回転率}}$$

②商品別統制方式

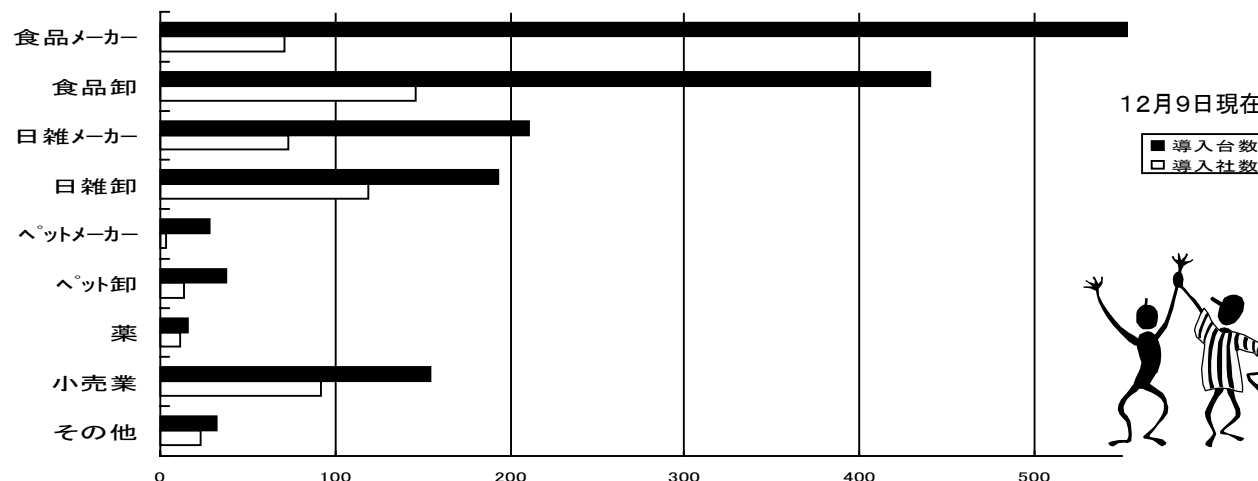
各部門内の商品を各部門で決定した商品分類基準に従って分類し、大分類程度の商品群別に金額による在庫統制を行なう方法です。例えば、SMの食品部門でいえば、生鮮食品・加工食品・日配食品などの分類が当てはまり、それぞれの分類別に売上高・仕入高・在庫高・商品回転率・粗利益率・交差比率などをとらえ、標準在庫高を算定します。この場合のポイントは、どの程度まで商品を細かく分類するかを慎重に検討することです。

③プライス・ライン別統制方式

商品の動きをとらえるのに、プライス・ライン別に分類する方法です。プライス・ラインとは、同じ種類の商品いくつもの売れ筋価格に絞込むことで、顧客に選択しやすくする方法です。このプライス・ライン別に売上高・仕入高・在庫高・商品回転率・粗利益率・交差比率などを把握し、販売と仕入に利用する方式です。

今回は、数量による在庫統制についてです。

棚POWER導入数【553社 1735セット】



MDPOWERが先進技術賞を受賞

先ごろ行なわれた、日刊工業新聞主催の第8回 流通システム大賞の選考において、本年1月より出荷を開始した「品揃え支援システムMDPOWER」が

【日刊工業新聞社 流通システム大賞 先進技術賞】

を受賞いたしました。消費者や商品の変化に対応した売場実現が最重要視されている今、品揃えに特化した分析を誰もが簡単に、かつ手軽に行なえるツールというコンセプトと、分析結果の現場(棚POWER)へのフィードバック機能をも兼ね備えた性能を評価いただいた結果です。既に、MDPOWERは複数の企業様でご導入いただき、現在も多くの皆様でご検討をいただいております。MDPOWERの機能詳細につきましてはマーケティングセクションまでお気軽にお問い合わせください。

第8回 流通システム大賞
先進技術賞 受賞



東京サポートセンター開設!!

日頃皆様にご利用頂いておりますサポートセンターを大阪に続き、東京にも開設いたしました。ますます便利になったサポートセンターでは【「迅速」、「正確」、「わかりやすく」】をモットーとした対応を心がけています。操作上のちょっとした疑問や不明点などお気軽にお問い合わせください。専任のスタッフが責任を持って対応いたします。尚、導入に関することや棚POWER Ver2.2、MDPOWERに関するお問合せは大阪サポートセンターまでお問合せください。

ホームページが新しくなりました

本年7月に開設した、iConceptのホームページはもうご覧いただきましたでしょうか？当ホームページでは、棚POWER95、MDPOWERの最新情報をはじめ、イベント出展のご案内やiConceptの最新情報などをご覧いただくことができますが、今回、ホームページにて、大阪と東京のサポートセンターのご紹介をしております。皆様とあまりお会いする機会のないサポートセンターのメンバーを是非ご覧ください。

<http://www.iconcept.co.jp/>